

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2016.4.15 No.261 連絡先 FAX 042-555-1911



フロリダ州ハールバート空軍基地の特殊作戦機 MC-130H また飛来



4月19日14時 33 分、フロリダ州ハールバート空軍基地の第 1 特殊作戦航空団第 15 特殊作戦飛行隊の特殊戦機 MC-130H(88-1803)が着陸しました。12 日にもフロリダ州ハールバート空軍基地の特殊作戦機 MC-130H コンバットタロン (89-0283)が飛来しました。

嘉手納基地の特殊作戦機 MC-130J Commando II 2機飛来



4 月 14 日、17 時頃と 17 時 19 分に米空軍嘉手納基地の第 353 特殊作戦航空団第 17 特殊作戦飛行隊の特殊作戦機 MC-130JCommando II が着陸しました。

1 機目は MC-130J(12-5762)、2 機目は MC-130J(12-5761) (左写真)です。どちらも 1 時間ほどで離陸しました。

厚木基地の MH-60R 2機がローパス



4 月 13 日 12 時 50 分、厚木基地の第 5 空母航空団第 51 海洋攻撃ヘリコプター隊の MH-60R (TA06) がローパスしました。第 7 艦隊のうち空母以外の艦艇で活動します。

同日 16 時 46 分、厚木・第 5 空母航空団第 7 海洋攻撃飛行隊の MH-60R (NF703) がローパス (上写真)。原子力空母ロナルド・レーガンが出航している時は空母艦載機となります。

4月17日 第85回 横田撤去座り込み135人参加



始まる前までは、強い風と雨。その中を中野共立病院を自転車で出発した健友会の方が、お子さんふくめ 16 人、座り込みに参加。そろいの「平和」Tシャツ、かっこいいです。

この日、悪天候の中、参加は 135 人でした。座り込みが始まると晴天に。8 年目がスタートしました!

撤去の会 福生市基地・渉外担当の方と懇談



CV22 オスプレイ10機と430人の特殊作戦飛行隊創設、IHI 瑞穂工場が F35 戦闘機のエンジン整備拠点に等、基地機能強化されています。市と、住民の安心安全について懇談しました。

横田で人員降下訓練、東富士でMVオスプレイ2機が訓練、厚木に3機飛来

- ◆横田基地：4月25日(月)～29日(金)、6:00 から 22:00 までの間、1日あたり 4 名の予定。
- ◆東富士演習場： 5月3日(火)、4日(水)、6日(金)、7日(土)、9日(月)～11日(水)、7:00 から 22:00 までの間、2機のティルトローター機が演習場全域において発着訓練を実施する可能性がある。
- ◆厚木基地：4月22日(金)MV 22 オスプレイ 3 機が突然飛来。25日(月)木更津で騒音測定。が都合で中止。

在日米軍関係経費 38年間に20兆円 国民の税金使う

(No. 261 裏面)

在日米軍の活動経費のうち、日本が負担している米軍関係経費が、米軍「思いやり予算」の支払いが始まった1978年度以来、2015年度で約20兆円に達しました。(右図：1月10日付『赤旗』紙より)

米軍関係経費の主な費目は右図のように、(1)在日米軍駐留経費(基地周辺対策費、基地交付金、土地の賃料など)、(2)思いやり予算、(3)SACO(沖縄に関する特別行動委員会)経費(高江の米軍ヘリパッド建設など)

(4)在日米軍再編経費(自衛隊航空総隊の横田基地への移転、辺野古新基地など)です。

このうち、在日米軍駐留経費約8兆円、思いやり予算6兆6852億円、SACO経費3995億円、米軍再編経費8614億円のは、政府の解釈でも日米安保条約に基づく地位協定上の根拠も義務もありません。2015年度2012年12月の第2次安倍政権発足以後、米軍関係経費が過去最高を更新。2015年度の米軍関係経費は7688億円で、1978年度の1760億円と比べて、約4.4倍に膨れ上がっています。このままでは、米軍関係経費は右肩上がりです。

米国防総省の資料(2004年)によれば、駐留米軍に対する日本の経費負担割合は約75%。ドイツ、韓国などの3~4割と比べて突出しています。異常な駐留米軍への負担、撤回させよう。

米軍横田基地のC-130H輸送機2機 熊本地震災害支援の物資輸送活動



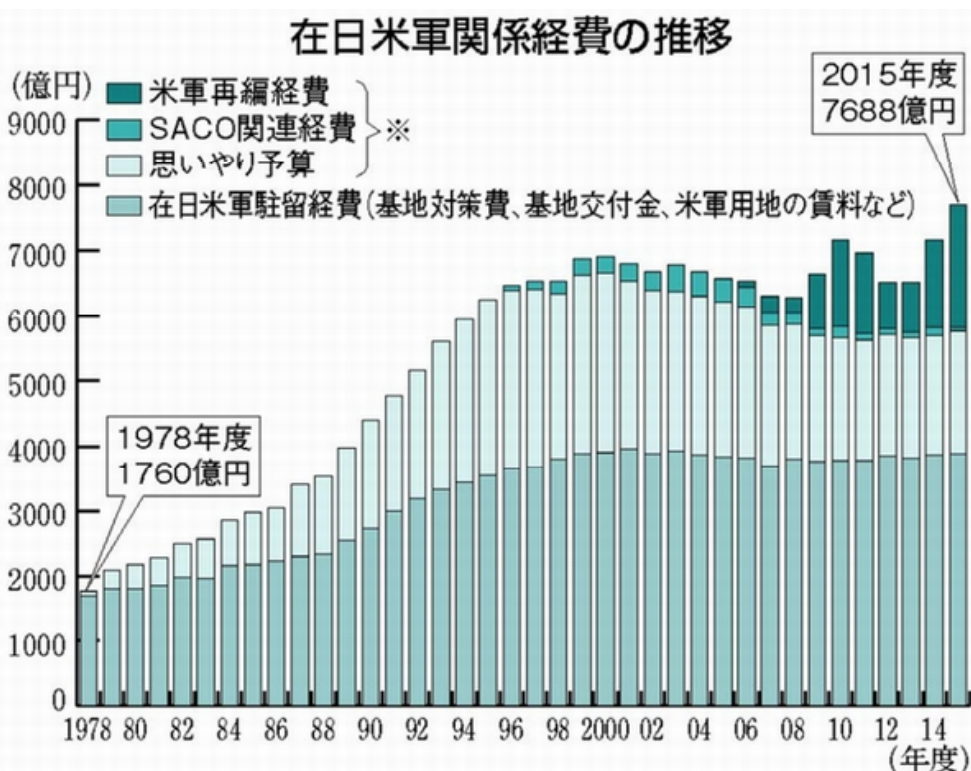
(上写真：米軍横田基地 HP)

3月18日、防衛省(北関東防衛局)から、横田基地の報道発表の情報提供があったそうです。以下【横田基地の報道発表】

【第374空輸航空団は、日本政府の要請に基づき、熊本大地震の被災地域で行われている災害救援活動を支援するべく、航空機を派遣します。第374空輸航空団所属のC-130H航空機2機が、現地で日本政府が行う災害支援の物資輸送活動を支援します。】

災害支援で、普天間基地のMV22オスプレイ2機は、18日午後5時過ぎ、熊本県南阿蘇村の白水運動公園に着陸したそうです。国内の災害派遣でオスプレイが使われるのは初めて。危険なオスプレイは、被災者の上空を飛行させてはいけません!

2011年の東日本大震災後の3月末、日本政府は米軍の災害支援を口実に、1881億円の「思いやり」予算を5年間続ける特別協定を成立させました。被災者ではなく米軍を思いやりました。



注)補正予算、予備費を含む、2015年度は補正予算案を含む。金額は歳出ベース
 ※思いやり予算の一部を除き、政府解釈でも日米地位協定上の根拠なし